

お知らせ

令和7年分の確定申告の受付期限は3月16日(月)までです。住民センターに申告用紙を用意してあります。ご利用ください。

岩 沢 通 信

第86号

2018年5月25日創刊

発行 岩沢アチコタネーゼ・岩沢福祉会

岩沢地域振興協議会・岩沢分館

編集 石曾根 徹(地域づくり支援員)

アチコタネーゼ雪おろしで地域支援

1月21日からの大雪で依頼殺到

岩沢アチコタネーゼの除雪支援事業がフル稼働だ。1月21日頃から長期間続いた大雪警報や注意報では、一晩に50〜70cmの降雪があり、登録している家から続々と雪おろしの依頼が舞い込んだ。これに対し事務局では次々と作業メンバーにLINEで連絡。1日平均7〜9人体制で大きい家は1班で、比較的小さい家は2班に別れて、多い時には1日9軒の作業を行った。特に大崩などは2回目とはいえず既に1.5m以上の積雪があり、2段掘りどころか3段掘り。それでもメンバーは時々冗談を言いながら、和気あいあいとスノーダンプを動かした。

依頼の受付や人員の手配を行うアチコタネーゼの駒井和彦代表は「メンバーには苦勞を掛けるが、我々の雪掘りを頼りにして待っている高齢者世帯のためにも、やらないわけにはいかない。金額はそれほど多く無いが手当も払えるので、それを糧に頑張ってもらいたい」と話す。2月2日からは小千谷市に災害救助法が適用され、それまでの屋根の雪おろしや避難路確保のための玄関前除雪から、避難に使用する窓や裏口、落雪や融雪屋根でもその能力を超えて屋根に雪が残る場合の雪おろしなども要件として追加され、更に除雪の依頼に拍車がかかった。



デイホーム研修会

「デイホームいわさわ」のお世話係や食事係への感謝と研修を兼ねて、1月27日住民センターで「出張前講座」が行われた。講師は小千谷市福祉課から派遣された高野直子保健師。今回は「認知症を知る」と題して、普段何気なく対応している認知症の背景や人による違い、対応方法など高野さんによる「認知症の心」の講座。基本は3つの心「急がせない」「急がせない」「急がせない」とのこと。講師



義は当初30分の予定であったが、講師と参加者の盛り上がりで気が付けば1時間の開催となった。講演を聞いた後は、お世話係と食事係が懇親会で普段のお互いの労をねぎらい、親睦を深めた。

